

2010 年度

復興祈願花火
「フェニックス南魚沼」
打上げ実施計画書

フェニックス南魚沼実行委員会

実行組織　：復興祈願花火「フェニックス南魚沼」打上げ実行委員会

委員長名　：高野　武彦（前塩沢町長）

事業名　　：復興祈願花火「フェニックス南魚沼」打上げ実施計画

作成日時　：平成 21 年 11 月 30 日

主旨目的

「訪れる人にとって魅力的な街であること

それは、子どもたちが誇りをもって暮せる街

そして、創り出せるのは唯一我々大人たちの想いから」

中越大震災からの復興を祈願し、震災から 1 年を待たずに世界一の復興祈願花火フェニックスが長岡大花火大会に舞い上がりました。フェニックスは長岡市民に勇気と誇りを与え、全国にその感動を波及させました。その半年後、記録的な豪雪に見舞われたここ南魚沼でも、南魚沼市雪祭りで打ち上げられ南魚沼の皆様と、多くの観光客とともにその感動を共有することができました。その後三宅島、寺泊、見附、新潟市とそのネットワークは広がり、復興のブランドとして着実に育ちました。

震災から五年が経過し、その傷跡も大分癒えた中、2009年、NHK大河ドラマ「天地人」の放映により、この地を多くの御客様が訪れ、全国に元気な南魚沼を発信することが出来ました。復興祈願として打ち上げてまいりましたフェニックスはその役割を終えようとしています。南魚沼市雪まつりも60周年という大きな節目であり、フェニックス花火は本年を持ってファイナルとさせていただきます。

フェニックス南魚沼は、みんなの想いが込められた花火であり、観て頂いた皆様と勇気と感動を共有できたと思います。南魚沼市雪祭りのフィナーレに打ち上げられるこの花火は、地域復興の一つのコンテンツでした。

想いが重なり合い、伝え合うことで新たなコンテンツが生まれ、それが地域の発展、経済・産業の活性化につながります。それが未来を担う子どもたちに、誇れる街を伝えることに繋がります。

フェニックスは終了いたしますが、私たちがこの花火に賭けた想いは変わることなく、続いていきます。皆様に於かれましては、何卒当実行委員会の趣旨にご賛同いただき、ファイナルフェニックス南魚沼の打ち上げにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1、実施日時

日：2010年2月14日（日）

時間：南魚沼市雪祭り 最終イベントとして（20：55頃）

2、実施場所

南魚沼市雪祭り会場 特設ステージ裏 花火会場、他周辺特設会場

3、予算総額

協賛目標金額 9,000,000円

14日（日）の打上げ花火費用、協賛金募集経費等含む

4、外部協力者

後援：南魚沼市、湯沢町、NPO 法人復興支援ネットワークフェニックス、南魚沼市雪祭り実行委員会、南魚沼市観光協会、湯沢町観光協会、湯沢町商工会、塩沢商工会、六日町商工会、大和商工会、雪国魚沼ロータリークラブ、湯沢ライオンズクラブ、塩沢ライオンズクラブ、六日町ライオンズクラブ、(株)エフエム雪国、(社)雪国青年会議所

5、参加人数計画

目標観客動員数 16 万名（09 年実績 15 万 1 千名、08 年実績 14 万 7 千名、07 年実績 14 万名、06 年実績 12 万名）

6、実施内容

- ・メイン会場では観光復興のシンボルとして、雪国南魚沼の地に相応しい繊細で美しく幻想的な花火を平原綾香氏の「ジュピター」に合わせる等凝った演出とともに打ち上げる。
- ・メイン会場周辺で、クライマックスに合わせ 10 号の連打を打ち上げる。

組織

顧問

井口一郎南魚沼市長

上村清隆 湯沢町長

齊藤隆景県議会議員

若月仁 県議会議員

実行委員長 高野 武彦（前塩沢町長）
同上副委員長 上村 昌司
同上副委員長 北原 雄一
同上副委員長 阿部 康弘
同上副委員長 井口 司
事務局長 岡村 望
同上事務局 南魚沼市六日町１０６－１（社）雪国青年会議所内 TEL 025 - 772-7937

7、スケジュール

平成 21 年

11 月末迄 組織立ち上げ、各団体応援要請
12 月中 記者発表
 寄付金、協賛金募集開始

平成 22 年

1 月中 花火師との打ち合わせ、花火の内容決定
2 月上旬 最終打ち合わせ
2 月 13 日 出店
2 月 14 日 本番

9、会場レイアウト

別紙

10、PR 募集方法

- ・ 長岡の「フェニックス」実行委員会と共通のマークを使用したパンフレット・ポスター作成
- ・ 各マスコミ、行政、企業、諸団体に取材・PR・協力を依頼
- ・ 企業・団体への協賛依頼
- ・ 募金箱の設置、街頭での募金活動等

11、期待される効果

- ・ 長岡大花火大会で全国的な知名度を持つ「フェニックス」を南魚沼バージョンで打ち上げることで、南魚沼の観光活性化を図れるとともに、フェニックスネットワークの構築により、県内各地のフェニックスを新潟県の復興と活性化のシンボルとして確立することで、新潟県各地に多くの誘客が見込める。
- ・ 南魚沼市・湯沢町にとって、行政、各団体の方々と既存の枠を超え協力してフェニックスを打ち上げることで、地域が一つになり活性化される。

- ・ 全国への中越大震災・中越沖地震の風化を防ぐことができる。

12、問合せ先

復興祈願花火「フェニックス南魚沼」実行委員会

南魚沼市六日町106-1 （社）雪国青年会議所内

TEL 025-772-7937

	2010年度予算	2009年度予算額	2008年度予算額
収入の部			
協賛金	¥8,600,000	¥7,500,000	¥7,300,000
利息			¥0
繰越金	¥432,097	¥199,434	¥251,996
計	¥9,032,097	¥7,699,434	¥7,551,996

支出の部			
煙火・演出費	¥7,200,000	¥5,700,000	¥5,700,000
本部関係費	¥100,000	¥100,000	¥100,000
宣伝広告費	¥1,300,000	¥1,400,000	¥1,300,000
記録費	¥100,000	¥200,000	¥200,000
家賃	¥50,000	¥50,000	¥50,000
通信費	¥50,000	¥80,000	¥50,000
雑費	¥150,000	¥69,434	¥51,996
PRグッズ	¥82,097	¥100,000	¥100,000
計	¥9,032,097	¥7,699,434	¥7,551,996
収支余剰金			

